

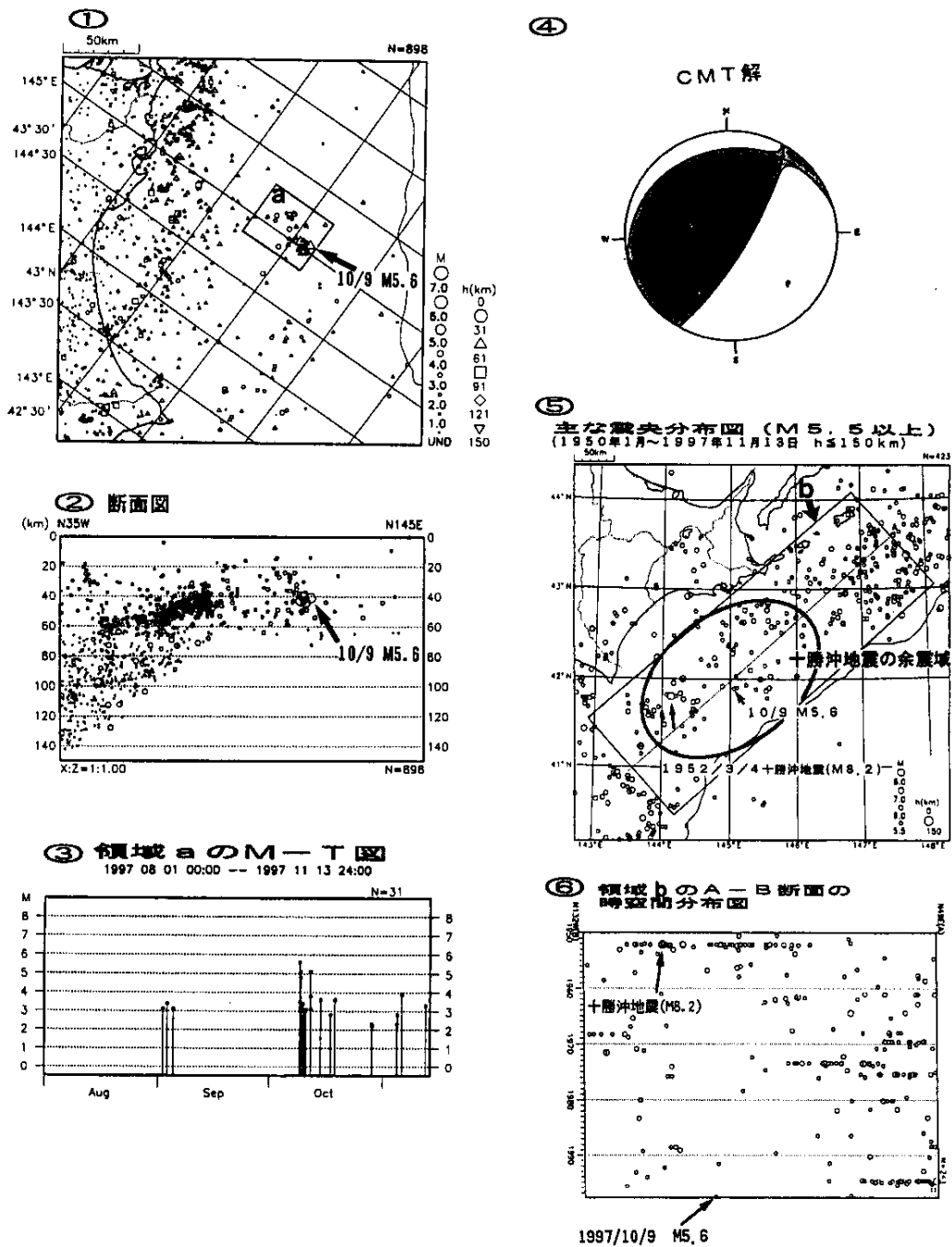
1 - 1 釧路沖の地震活動（1997 年 1 月～1997 年 11 月 13 日 h 150km）
Seismic activity off Kushiro(January-November 13, 1997 h 150km)

札幌管区気象台

Sapporo District Meteorological Observatory, JMA

1997 年 10 月 9 日、釧路沖の千島海溝寄りの海域で M5.6 の地震が発生し、10 月 12 日までに M5 以上の地震が 3 回発生するなど地震活動が活発になった。その後、10 月下旬からは活動が低下しており、11 月 13 日までに震源の求まった地震の合計は 28 個である（第 1 図参照）。今回の地震発生域は 1952 年 3 月 4 日に発生した「十勝沖地震」の余震域のほぼ中心に位置している。この地震から相当時を経ており、プレートの沈み込みによる歪みの蓄積が進行していることと、本年 9 月上旬に発生した地震以外は地震活動がかなり低レベルであったことから今後の地震活動の状況が注目される。釧路沖の地震活動と北海道北部の深発地震との関連について第 2 図に示す。「1993 年釧路沖地震」の前に北海道の北方の深発地震が若干増えており関連があるように見受けられる。また、「釧路沖地震」の 5 年位前から釧路支庁沿岸付近の地震活動の活発化も見取れる。しかし、今回の地震活動と関連付けられるものは今回の資料では見受けられない。

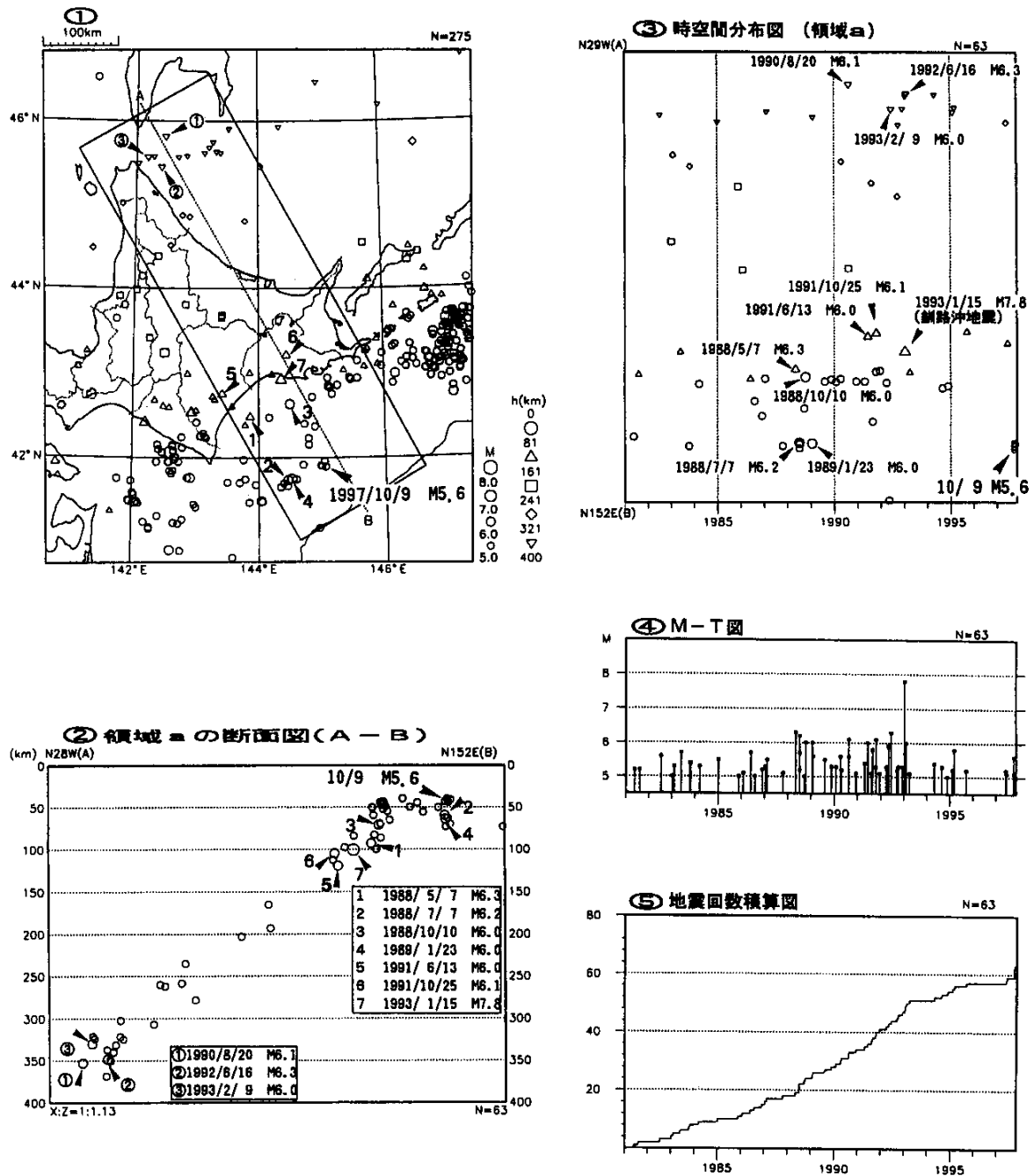
釧路沖の地震活動
(1997年1月~1997年11月13日 $h \leq 150$ km)



第1図 釧路沖の地震活動 (1997年1月~1997年11月13日 $h \leq 150$ km) : 震央分布図 断面図 領域aのM-T図 CMT解 主な地震の震央分布図 ($M \geq 5.5$ 1950年1月~1997年11月13日 $h \leq 150$ km) 領域bのA-B断面の時空間分布図

Fig.1 Seismic activity off Kushiro (January-November 13, 1997 $h \leq 150$ km): epicentral distribution, vertical cross section, magnitude-time diagram(region a), centroid moment tensor, epicentral distribution($M \geq 5.5$ January 1950-November 13, 1997 $h \leq 150$ km), space-time plots(region b).

釧路沖の地震と北海道北部の深発地震(M $\geq$ 5)
(1981年1月1日~1997年11月13日)



第2図 釧路沖の地震と北海道北部の深発地震(M $\geq$ 5): 震央分布図 領域aの断面図 同, A-B断面の時空間分布図 同, M-T図 同, 地震回数積算図

Fig.2 Deep seismic activity off Kushiro and northern Hokkaido (M $\geq$ 5): epicentral distribution, vertical section(region a), space-time plots(region a), magnitude-time diagram (region a), cumulative number of earthquakes (region a).